

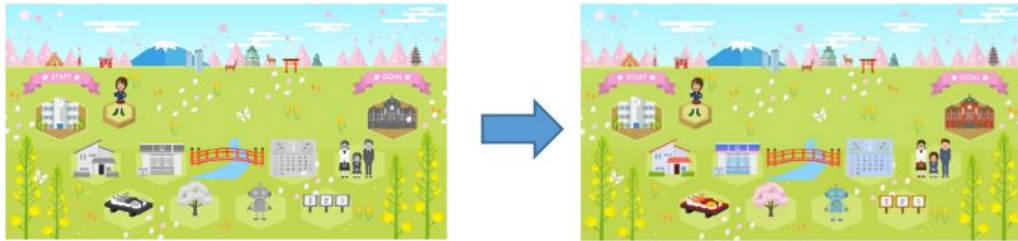


エリンと挑戦!にほんごテスト 使い方のヒント 2

このアプリを自律学習の課題として学習者に紹介して下さっている方も多々と思います。そして、学習者の皆さんは、がんばって、たくさんステージをクリアしてくれていると思います。もちろんステージをクリアしていくことで、たくさんのがが学べますが、今回は、少し視線を変えて、ひとつのゲームだけを使って行う活動を提案してみます。

1 準備 まず各季節のステージを9つ開けて、みてみよう

学習セクション(「Let's Try」)には、春夏秋冬と4つのマップがあり、それぞれに10のステージがあります。各季節のはじめは、スタートステージの1のみ開けていますが、これをクリアすると、ゴールステージ以外の8ステージが開きます。こうすることで、スタートステージを含む9ステージ分のゲームに、自由に挑戦できるようになります(ゴールのステージ10は、ステージ1~9をクリアしないと開きません)。



2 使い方のヒント MANGA を使った活動

MANGA とは？

マンガの登場人物になって、選択肢の中から1つ適当なセリフを選んで、声に出して読むと、正しいセリフかどうか、アプリの音声認識システムが判定してくれます。クラスの中で、なかなか声を出す機会が少なくても、このゲームを通じ、気軽に生活の中の日本語を口から出して、確認ができるようになっています。



まずは、この MANGA で実際に声を出して、日本語を話してもらってください。

このゲームでは、もちろん正解を探すことが一番大切ですが、ゲームは何度でもできますので、一度正解したら、また同じ MANGA に戻り、他の選択肢のことも声に出したり、他のことはどんな時に使うのか考えたりしてみるのもいいでしょう。

では、ここで質問です。皆さんはこれまでマンガを使って、どんな授業をしてきましたか？それはこの MANGA を使ってもできますか？





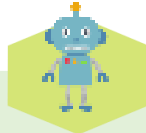
いままで吹き出しの中の文字を消して、何のセリフが入るか考えてもらったことがあります。

いいですね。MANGAの正解の部分に、他のことばが入られるシーンもありますので、イラスト部分を活用して、新しいセリフを考えるのもいいと思います。



おすすめ

春「日本のもの」ステージ



このステージのMANGAは、桜をみて「きれいだね」と言いますが、この場面では、他のセリフもたくさん考えられます。



マンガの続きを考えてみようという活動をしたことがあります。マンガを途中まで渡し、その後を考えるというものです。



なるほど、楽しそうですね。MANGAの内容も、会話の一部分を切り取っているだけなので、続きを考えるということもできるでしょう。ただ、このアプリのMANGAの場合、続きについては正解がないので、長くなりすぎず、また難しくなりすぎないように、レベルに合わせて、会話の終わりや、やりとりの例や往復数などを指示しておくといいと思います。



おすすめ

春「数字」ステージ



このステージのMANGAは、自己紹介の場面なので、この後に自分のことを言えば、続きになります。

さらに、学習者同士で、その自己紹介についての質問もできます。



CHECK!



セリフを変えたり、マンガの続きを考えたりする活動は、ついマンガのセリフを考え、書くことで終わってしまいます。忘れずに、声をだす活動までつなげましょう。



マンガを通して、日本の生活や習慣について話したことがあります。

それもいいですね。このアプリの MANGA も今の日本の様子を反映することを意識して制作しています。特に、高校生の学校や家、または町の出来事が中心となっています。自分の国の文化と比べるなど、文化について話す素材としても利用できると思います。



おすすめ

春「町」ステージ

この場面では、男子高校生たちが駅で朝の挨拶をしています。

このシーンのように、みなさんの国には、電車通学がありますか。また駅の様子は何が違いますか？



ホームの床に書いてある文字は、何でしょうか？



3 最後に

MANGA を使った活動、いかがでしたでしょうか。なお、今回の活動をスマホで録音・録画し、発表をオンラインでやるのも楽しいかもしれません。このアプリの MANGA は、アプリをダウンロードしてあれば、離れていても、同じマンガがみられるのも一つのポイントです。

春の 10 ステージをすべてクリアしたら、次の夏のステージへ、そして次は秋へと進むことができます。ぜひ、4 つの季節の MANGA をどんどん活用していただければと思います。

